

平成28年度市民行政評価 市民意見募集結果

事業名 評価集計	意見
(1) 高齢者公共交通利用促進費(46件)	
継続	18件
	<p>金沢での車の重要度は非常に高く、このような事業が有意義であることは確実である。ただし、事業期間が4年と、まだ短いこともあるが、周知しきれていない可能性はあると思われる。</p>
	<p>これから高齢者がより一層増加する時代となるので、地域の老人会などと協力し、自主返納を促すことも必要である。</p>
	<p>現在、冬場（11月末～3月下旬）利用させて貰っており、非常に助かっている。公共交通機関の利用促進を図る上から非常に必要。</p>
見直し	25件
	<p>自主返納者を増やすためにも、助成額の大幅な増額等のインパクトのある取組みが必要だと思います。</p>
	<p>運転免許返納率を上げる為には、助成額を大幅にUPさせた方が良いと思う。 ※「継続」と評価されているが、助成額の改定を指摘していることから、「見直し」として集計。</p>
	<p>運転免許証自主返納者の利用率が年々低下していることから、積極的に周知をすべきではないでしょうか。</p>
	<p>希望者が多いはずと思うので、是非、周知を強化してください。</p>
	<p>高齢者が当事者となった交通事故が増加している。この傾向は、高齢人口の増加と相まって強くなると思われることから、事業の目的は理に適っている。一方で、高齢者の免許証所持者が、この事業を利用する率が低いことから、十分にアナウンスされておらず、十分な効果が得られていない。若しくは、メリットがないと考えられる。このことから、今一度、関連団体と協力して事業の案内を強化し、その上で、一定の利用がなければ、1000円のみとし2000円は廃止を検討しても良いのではないかと。</p>
	<p>(1)助成対象者が70才以上となっていますが、後期高齢者である75才以上にする。</p>
	<p>(2)運転免許証を自主返納した者で返納から1年以内を3年以内に延長し、助成期間も3年にし、助成額を月4,000円とする。</p>
	<p>(3)(1)で(2)以外の者に対する担当課を長寿福祉課に変更する。</p>
	<p>理由</p>
	<p>(1)で(2)以外の者に対する助成額が月1,000円では申請手続や定期券購入に出向く手間に比して魅力に乏しくこれが利用率の低下に示されていると思います。</p>
	<p>(2)は助成額月2,000円1年限りでは長年車を使い行動した便利さから高齢になったという理由だけからその資格を返納する機にはなかなかならないと思います。</p>
	<p>また、助成期間が1年限りでは(1)と同様制度の利用率が逐年低下していることにも現れていると思います。高齢者運転の交通事故防止策は高齢者の自覚を高める機会を増やすなどして対応すべきものだと思います。</p>
	<p>(3)長寿福祉課では毎年申請者に入浴料助成券を1年分交付していますが(1)で(2)以外の措置は正にこれに類する施策だと考えます。</p>
	<p>公共交通利用を促進するためには料金を安くするだけでなく、本数を増やすなど利用しやすい環境作りも大切だと思う。</p>
	<p>自主返納者に対し、利用実績が少ない。郊外から中心部への公共交通の充実又はコミュニティバスなど考えてほしい。</p>
	<p>団塊の世代で高齢者の一人である私は、やがてクルマ運転の免許返納の時が来ると思ってますが、その時には町内近辺でスローなバスに気軽に乗って買物に行けるようシステム整備が進んでいることを切望しています。</p>
廃止	3件
	<p>自主返納者の12.8%しか制度を利用していないのであれば、廃止しても殆ど支障がないのではないのでしょうか。</p>